

「TEST WG」ポジションペーパー

田中英一
(株) 電盛社
eiichi.tanaka@tel.com

1. 自己紹介

今回 2 回目の参加となります。

今年はこの不況下で遠い九州の地からの参加は無理だろうと思っていましたが、理解のある上司のおかげで参加できました。

ソフトウェア開発経験は 2001 年からで、8 年間半導体製造装置のシステム開発を行っていました。

今年の 4 月より品質保証の担当となったのですが、弊社には今まで品質保証に関して専任の担当者がなく、私ともう一名が手探り状態で改善を行っています。

2. 弊社の品質活動に関して

昨年市場不具合が多発したことにより、顧客から今年度の品質に関する要求が厳しくなっています。

不具合の原因を調査すると、仕様漏れ等、要求仕様の作成段階に問題がわかったので、今年度より社内レビューを強化することで要求仕様に起因した不具合の軽減を試みています。

○現状の課題

- ・ レビューに対する定量的な評価がない。(指摘件数の抽出と分類のみ。)
- ・ レビュー者のスキルがバラバラで指摘する人が偏っている。
- ・ 開発者間に改善活動の温度差がある。
- ・ 後工程でテスト部隊が実施するテストに不具合が発生しているにも関わらず、開発者が実施するテストに関して改善の取組みがない。

3. 議論したい内容

今年の SS の事前討議に参加して、いくつか提案しましたが、その当時と状況が異なっているので、新たに以下の内容を提案します。

1. 下流工程で出る不具合を上流工程で食い止める方法

開発者のテスト段階でテストの網羅性を高め、実機テストを実施する前に不具合を洗い出したい。

2. レビューの効果、評価方法

効果のあるレビューが行われているか定量的に判断したい。

ソフトウェアテストに関する議論もさることながら、“レビュー”についても議論、情報交換させてください。